

目次

[概要](#)

[症状](#)

[解決策](#)

概要

Sourcefire ユーザ エージェントを展開した後、リアルタイム ステータスがコンフィギュレーションのステップにことをすべてに従った後未知に残ることを注意することができます。この資料は方法で手順を未知から利用可能にステータスを変更する提供したものです。

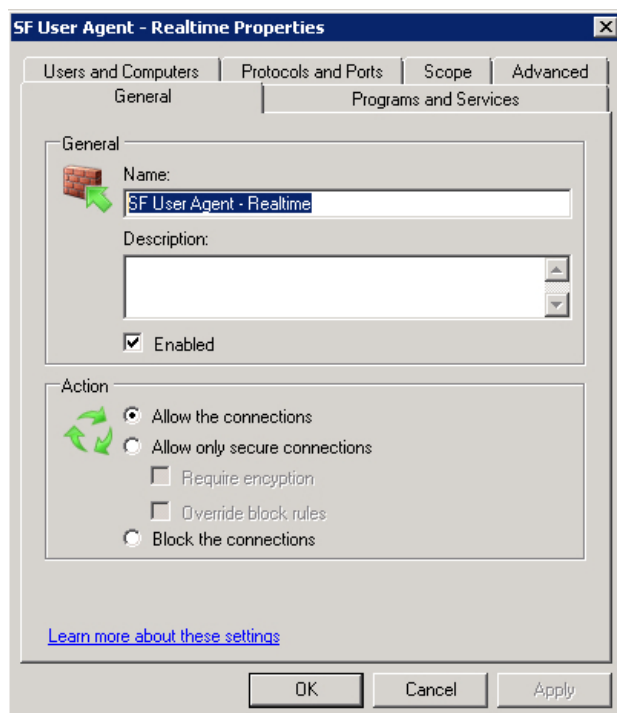
症状

ドメインコントローラのファイアウォール設定は必須 RPC 接続が確立されることを防ぎます。ユーザ エージェントはドメインコントローラに接続し、実時間監視を確立するのに RPC ダイナミックポート接続を使用します。

解決策

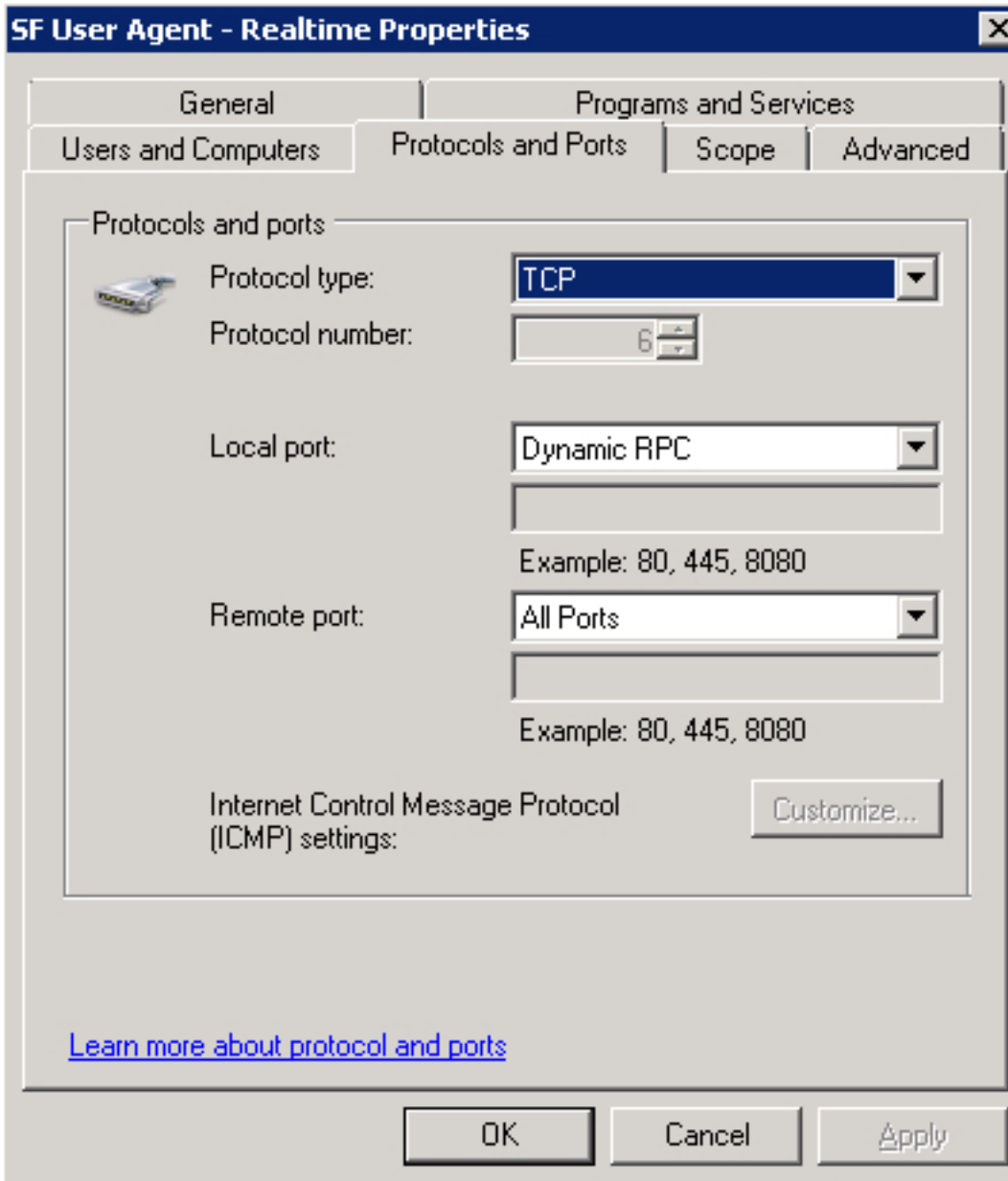
ユーザ エージェントからの拡張セキュリティ コンソールで Windows ファイアウォールを使用してターゲットとされたドメインコントローラの受信 ファイアウォール ルールを作成し、起こるように必要な接続がします。設定の例およびステップは下記のように説明されます:

1. **General** タブで、ルールを指名し、**許可します接続**を選択して下さい。

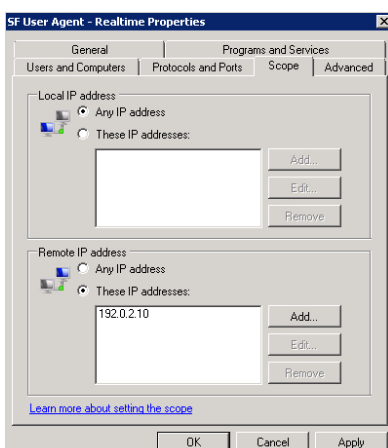


2. プロトコルおよび Ports タブで、以下の項目を選択して下さい:

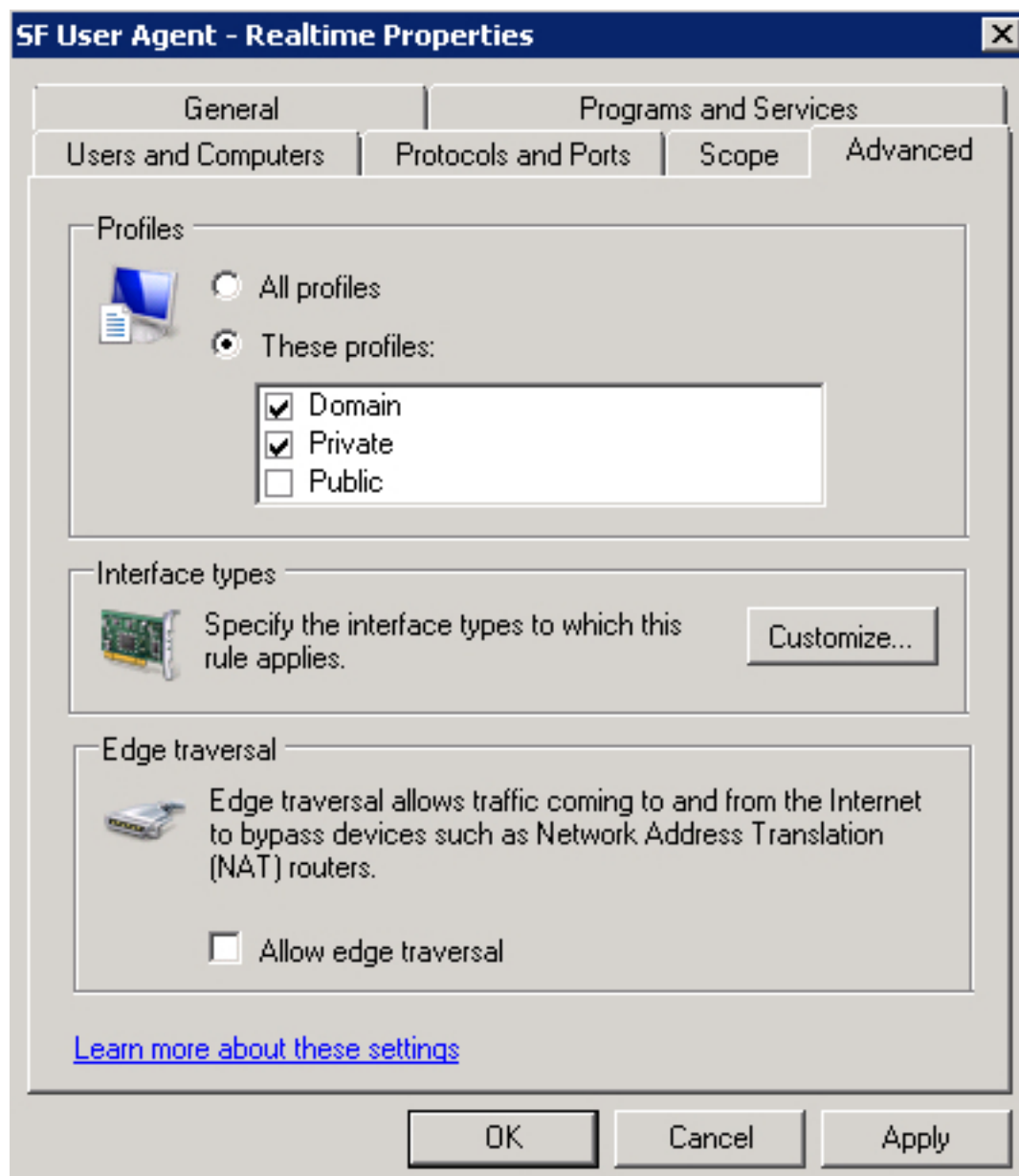
- プロトコル タイプ: TCP
- Local port: ダイナミック RPC
- Remote port: すべてのポート



3. スコープ タブで、リモートIPアドレスを追加して下さい。ユーザ エージェント ホストの IP アドレスを入力するために『Add』 をクリックして下さい。



4. **Advanced** タブで、適切なプロファイルを選択して下さい。



ファイアウォールルールを保存し、有効にし、Sourcefire ユーザエージェントサービスを再開して下さい。リアルタイム接続ステータスは未知から利用可能に今変更する必要があります。